

いました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を25分といたします。

〈午後4時18分 休憩〉

〈午後4時25分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。〔17番 古畑浩一君登壇〕

○17番（古畑浩一君）

元気ですか。元気があれば何でもできると勇気づけてくれましたアントニオ猪木さん、故猪木寛至さん、10月1日の日に亡くなりました。プロレスラーであり、実業家であり、そして国会議員でもあります。数々のイベントやプロデューサーとしても大活躍された方でございます。自称、猪木信者の私としましては、お悔やみを心から申し上げるものであります。

そして、今日は、26年前、蒲原沢で土石流災害が発生し、14名の貴い命が犠牲となり、9名の重傷者も出ております。本当に貴い命、それも7・11の災害の復旧の工事のための災害でした。今日は多分、早い時間、早朝より慰霊祭が行われたことだと思っておりますが、この場をお借りいたしまして、深く哀悼の意を表すものであります。

それでは、これより通告書に従いまして、一般質問をさせていただきます。

1、新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻、物価上昇など経済不況に対する糸魚川市の対応につきまして。

(1) 深刻さを増す不況など経済対策につきまして。

- ① 新型コロナウイルス感染症第8波、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、光熱水費を含む物価高騰の状況をどのように捉えているのか。また、市民生活への影響をどのように捉えているのか。
- ② 困窮する市民生活、医療福祉・教育・サービス業など、どのように対応するのか。被害者救済をどのようにするのか。
- ③ 新型コロナウイルス感染者の全数把握をカウントしなくなったが、この方針は継続していくのか。
- ④ 行動自粛と経済浮揚。この矛盾をどう克服するのか。
- ⑤ 新型コロナウイルス、インフルエンザに対する自己検査への補助が必要と考えるがいか

が。

2、人口問題と少子化。医療の医、職業の職、住居の住、これを取って「医・職・住」の充実など総合計画の必要性につきまして。

(1) 様々な施策を展開しているが、人口問題を総合的に捉えて、これまで個々に取り組んできた出会いから結婚、出産、子育て、進学、地元定着、そして老後までを一連のプランニングとし、安心して産み育てる、「ついの住みか」までのプランニングを策定すべきであります。生まれてから他界するまでの総合計画「イトヨ・プラン」を策定すべきではないか。

(2) 安心して定着し、暮らすことのできる「医・職・住」の充実、安定供給できる環境づくりをどう進めていくのか。

(3) 子育て支援センターの概要と、この施設が優先的に必要なかどうかお聞かせください。

(4) 「おめでた祝い金（出産準備金）」や「出産お祝い金」、「マイホーム補助金」、「地元就職お祝い金」など魅力ある制度を拡充・導入すべきと思うがどうか。

(5) ドメスティックバイオレンスやシングルマザー、児童虐待につきましてもワンストップ体制を構築する必要があるが、対応はいかがか。これは個人情報保護の観点であります。

3、権現荘を今後どのように運用するのか。また、過去の経営責任はどうするのか。

(1) 赤字経営、支配人等の不正行為、4億円のリニューアル工事、株式会社能生町観光物産センターへの特命随意契約決定後の一連の責任をどう考えるのか。

(2) 指定管理者制度を継続できない理由は何か。

(3) 今後どのように運用していくのか。

(4) 年間2,000万円の黒字宣言であったが、ここまでの支出はどうなっているのか。

以上、お答えをよろしく願いいたしたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

古畑議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、国も様々な支援を講じておりますが、燃料価格や物価の上昇が続いております。全国的な傾向として、幅広い世帯の家計を圧迫していると言われており、当市においても同様の影響があるものと捉えております。

2つ目につきましては、医療機関や福祉施設に対し、光熱費等の上昇分の支援や今すぐU t a g e（宴）キャンペーン、元気応援券等による経済対策を実施してきておるところであります。

また、本定例会において、困窮されている方への支援について補正予算を計上しているところであり、今後も国の動向を注視しながら必要な支援に努めてまいります。

3つ目につきましては、国の方針であり、継続されるものと捉えております。

4つ目につきましては、行動制限はありませんが、自粛傾向は依然として見られており、市内消費をさらに喚起する必要があると考えております。

5つ目につきましては、現在、県が症状がある方を対象に新型コロナウイルス抗原定性検査キットの無償配付を実施しており、インフルエンザは、医療機関を受診し、必要があれば検査が行われ

ることから考えておりません。

2番目の1点目と2点目につきましては、今年度からスタートした総合計画を着実に進めていくことで、人口減少対策を講じてまいります。

また、結婚を希望する男女への支援とともに、安心して子供を産み育てることができ、若者が生き生きと活躍できる環境づくりに向けて、庁内連携により取り組んでまいります。

3点目につきましては、子育て環境と市の中心市街地における都市機能を充実させることを目的に、子育て世帯の交流と妊産婦支援を促進する機能をはじめ、天候に左右されず、子供が安心して遊べ、また若者から高齢者までの多世代交流を促進するための機能等を備えた施設整備を計画いたしております。

また、少子化に伴い、子育て世帯間の交流機会が減少する中、子育てに関する悩みや不安を抱える保護者の居場所づくりの必要性は、より高まっているものと考えております。

4点目につきましては、事業効果や継続性等を考慮しながら行政サービスが展開できるよう、引き続き調査研究してまいります。

5点目につきましては、個別の状況により、専門性が必要なことから、関係部署が連携し、対応しております。

3番目の1点目の過去の経営責任につきましては、その都度、議会等に報告させていただいており、今後も適正な経営に努めてまいりたいと考えております。

2点目につきましては、9月末を締切りとして次期指定管理者を募集してまいりましたが、現在の条件では応募がなかったことから、今後の管理方法について検討しているものであります。

3点目につきましては、民間譲渡の可能性を検討しております。当面、日帰り温泉の営業は続けてまいりたいと考えております。

4点目につきましては、平成29年度の指定管理とした当初から赤字傾向が続いており、令和2年度以降は、コロナ禍により収入の減少が大きくなっております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでは、これより2回目の質問に入らせていただきたいと思います。

まず、1点目、コロナや紛争に由来する不景気ですが、これはもうコロナだけで3年目の冬になろうかと思えますけど、すごいですね。基本的に不況を肌で感じるって、こういうのがあります。しかも良くなる流れじゃなくて、来年にかけて、来年以降、ますます悪くなっていくというふうに思えます。

さて、そこでウクライナの紛争をどうにかしろというふうには言ったってしょうがないことなんですね、今のコロナの現状、特に糸魚川市がどうなっているのか。今は毎週、市のほうでも発表していただいとるんですが、今最新版でどうなっているか。これを全数把握をやめて、1週間ごとにやるとして、その部分、何週もないですからね。ちょっと教えていただきたいと思います、その傾向

みたいなことを。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

第7波がある程度収まって安心しておったんですけども、例えば10月24から10月の30日、この1週間では、糸魚川市39、そして次の1週間では56、そして次は97、140、127、そして直近の11月28から12月4日のこの1週間では284ということで、そんなに急に拡大ということではないんでしょうけども、間違いなく静かに拡大してきておるといように感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

ちょっと暫時休憩をお願いします。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後4時37分 休憩〉

〈午後4時38分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

基本的に持つてる資料が違うんですけども、私のは、ごく一般の皆さんが見ることのできるホームページ、課長さんのは、やっぱり課長さんじゃないと見れない資料だろうと思いますけどね。基本的には、世間一般に糸魚川市民の皆さんが見てるほうで質問をやらせてもらいたいと思います。

やはりこの全数把握をやめてのその結果ですけど、1、2、3、4、5、6、7、8の8週間、8週間で748名ですよ。1週間にトータルをやると1週間に100人ぐらい出てしまいますね。それで11月25日から12月1日の部分でも、1日に32.57人が出るようになってる。

そこでだ。この数字に対してどうのこうのじゃないんですけども、例えば今回の一般質問で出てこない方、職員さん、課長さんいらっしゃいますよね。要はね、このコロナの怖さっていうのは、本人だけじゃないんですよ。本人だけじゃない部分があって、濃厚接触者だとか同じ職場だったとかでやられる。だから影響は、この何倍もあるということなんですね。それが市民の皆さんが肌で知

っているので、その辺のところが慎重にやらざるを得ない。

それで今回、担当課の皆さんは、飲食店の陳情、各組合の陳情を受けて、そして最終的には市長が、今すぐU t a g e（宴）キャンペーンの再開ですとか、そして2次会補助の様々なものをつくっていただいたんですが、その辺につきまして説明をお願いいたしたいと思います。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後4時40分 休憩〉

〈午後4時41分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。失礼いたしました。

今すぐU t a g e（宴）キャンペーンにつきましても、今回で3回目になります。今までと違うのは、2次会につきまして、定額の1,000円、2,000円以上で補助のほうを行うものになったものでございます。詳細につきましても、今手元のほうにありませんが、改めて周知のほうをさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

大西課長ね、やはりそういうところが駄目なんです。ちゃんと通告書にコロナに対する景気対策で、経済は波及効果どうだと出てる。糸魚川市としましては、ちゃんとそういう人の声を聴いて、それに対応しているいろいろやっています。その一つとして今すぐU t a g e（宴）キャンペーン、そして今回は2次回の補助金だと。やってるんですよ。やってないと文句言ってるわけじゃない。やっていただいてありがとうございますとかっていうのが、その流れなんです。特に市長にしましては、直接そういう方々の陳情を受けていただいて、なるべく盛り上がるように話をさせていただいたり、政策取っていただいた。そこはいいんですけどね。このやっぱりコロナの数の多さですよ。行動自粛ですね、コロナによる。それと経済の浮揚策、飲め飲めと言っても怖い怖いという。各企業の皆さんもやはり忘年会につきましても、会社を挙げてというのはなかなかできないですね。なかなか宴会も8人集まんないという部分があります。この辺をどうするかなんです。だからブレーキとアクセルを一遍に踏むわけなんです。この辺どのようにお考えなのか聞かせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

先ほどの今すぐU t a g e（宴）キャンペーンにつきましては、今資料のほうの手元に見つきましたのでお答えさせていただきます。

やはり2次会のほうのご要望が多くありましたことから、従前は2次会につきましては2,000円以上、1,000円の補助でございました。今回、1,000円以上2,000未満のものにつきましては1,000円の商品券、また2,000円以上につきましては2,000円分の商品券のほうをお渡しすることになります。

今ほどご質問の1次会につきましては8人以上、2次会につきましては4人以上ということで、飲食店組合等のほうから人数の検討はできないかというお話のほうを頂いております。担当といたしましては、景気回復ということもありますので、あまりにも少ない人数でありますと、飲食店の事務的な煩雑もありますし、景気対策には若干弱いのではないかということで、人数につきましては、従前どおりにさせていただいたものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

基本的には、まだ細かいところをお話ししたいところありますけど、時間も項目もないんで、ちょっと先へ行きたいと思えますけど。基本的にコロナと今回のやつは、ウクライナ紛争、ロシア紛争も交じって、大変な物価高。しかも年明けにさらに大きくなりますし、この4月に対しては、さらに物価が上がってきて、公共事業等も上がっていくということも考えられる。今度はそっちのほうの救済というのは、どのように考えているのかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

全庁的に政策はばらまいてますので、ちょっと私のほうから総合的なところをお話しさせていただきたいと思えます。

確かに今、議員が言われるように電気代、ガス代、非常に上がっております。私たちが持つてる公共施設も、今回の補正でもちょっと高額なものを出しておりますけども、非常に公の部分もちょっと影響を受けてるところになります。

その中では、4月からも取り組んでおりますけども、所得の低い方に定額の給付金を支援したりですとか、あと今回の補正でも上がっておりますけども、住民税の非課税、均等割りになるんですかね、の世帯の方を支援をします。そういった方への支援ですとか、後はガソリン代、灯油も上が

っておりますので、それに対して灯油代、灯油の代金の補助と。そういった支援をやりながら、住民の皆さんに少しでも負担を軽減できるような施策を取りながら、あと事業所のほうも、もう6月からスタートしている部分もありますが、燃料費の高騰に対応するために支援策というものを講じているというところになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

もちろん、これから冬になってきますので、ガス代ですとか灯油代、石油代というものはもう直接やっぱり響いてくるわけです。具体的には、灯油代の上がった分はやっぱり全部補助してあげる。福祉のほうには、同じような福祉団体からは陳情があったというふうに思いますし、それに対する対応策はされてると思いますが、それはどんなふうにされましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えいたします。

社会福祉施設の物価高騰対策事業ということで、9月の補正で上半期の光熱費の、前年度と比べて増えてる部分の半分を補助するという事業を行っておりますが、下半期についても行いたいということで、今回の補正でその分、上げさせていただいてます。また、冬期になるということで、基準額を上半期よりもちょっと膨らませて、1.5倍にして、基準額のほうを設定させていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

非課税世帯、低所得世帯だけじゃなくて一般の皆さんからも大変な悲鳴、これは今の悲鳴というよりも、それを予測してどうなるんですかという意味の悲鳴だと思います。やっぱり来年になったら早々、大変なことになってくるのかなと思います。今、予算編成の時期ではございますが、それをちょっと頭に入れてやっとなないと大変だろうというふうに思います。

じゃあコロナは終わって、2番目に入らせていただきたいと思います。

やっぱりいろんなことを行政としましては、人口定着だとかそういうこと、やっぱり力を入れてやっていただいていると思います。特に若者医療とか子供の医療だとか、そういった部分につきましては、非常に手厚くやっている。

そこで、今回、総務文教常任委員会で市外調査に行っていました。今回、企画定住課ですとか、こども課も一緒にやる。中につきましては、十分見られてると思いますが、市長やっぱりこれを見れば、中を見れば分かるんですけど、非常に見やすいし、見てて、こんなのがあるのか。例え

ば空き家活用支援制度、これなんか見ますと、買う、取得支援に対しまして上限100万円、それを直した場合にはリフォーム補助で100万円で、合計200万円つきます。これやっぱりこういう制度があって、幾ら出ますよというのが、これがUIターン支援制度、これが10万円入って、次に今度は、子育て世帯だったら20万円もらえますよと。こちらのほうは、若者結婚支援。直接自分には関係ない、関係のあるとこだけ見たら、その後もやっぱり見ますよね。子育て支援とか就農支援だとか、就職支援だとか、いろいろあるんですよ。それが非常に見やすく、1冊になってるんです。何もイトヨ・プランをやれとは言いませんよ。

ただ、イトヨという魚は、海に行ってから、また川へ、自分の住んでるところへ帰ってきて、雄が家を建てて、巣を作って、それで雌を呼んで、子供を産ませて、さらにその子供がふ化するまで、卵がふ化するまで雄が面倒を見るんです。名前がイトヨで、糸魚川の名前の由来にもなったという説あるっていうから、イメージポイントでいいんじゃないか。

総合的に整理をして、いわゆる関連性があるもの、やっぱりたすきをつなぐ、駅伝ランナーのようにやっていかなくちやならんと思いますね。例えばこども課が一生懸命、産まれてから小学生ぐらいの子を一生懸命やったとする。それを今度、卒業して行って、子育て支援から今度は定住のほうに入っていく。それでやっぱり帰ってきてもらいたいから、今度は家を建ててもらいたいとか、今度それが子供が産まれたら、また戻るし、親のほうは、ついの今度は住みかだよ。いろいろな意味の棺桶までしっかり、できればピンピンコロリで、できるような制度もやっぱりつくってほしい。それらを1冊にしてほしいというのが、ここしばらくのずっと、1つの総合計画にしてほしい。たすきをやっぱりつなげる。周りが見るように、見たいものじゃなくて、見たいものだけではなくて、これがここににつながるのかという流れが欲しいと思うんです。いかがですか。言ってることは分かっていただけでしたかね、どうでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

各課において、人口減少対策ですとか子育て支援に関する事業をやらせていただいています。それが、それぞれの担当課で事業推進してありますが、それを一覽でなかなか見えてないんじゃないかというご指摘だというふうに思っています。私もそのように感じる部分がございます。しっかり取りまとめて、また皆さんにもご提示させていただく中で、ご意見を賜れるようにしていきたいというふうに思っています。

それからまた、新年度予算の段階で、そのように提示できればというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

12月の、今の一般質問はね、来年度の予算につながる一般質問だというふうに思ってますんで



ね、今の副市長のご答弁でいいわけなんです、やっぱりいいなと思ったら、ちゃんと実施している市があるということなんでね。実施してる市がやってるんだから、その今度やってみてどうだったかを今度フィードバックして、いいやつだけを取って、そして伸ばしていけばいいと思います。だから、いいものを食欲に取り入れていく。やらないのが一番駄目ですよ。今回は福井でしたけど、福井県のほうです。これから北陸新幹線が延伸してきますから、今一番活気のある時期ですよ。まちづくりと人づくりというものを、一貫性としてよく考えてやられています。

それからすごいのが、説明に入られる職員、もう女性職員のほうが多いんだよ。6人来たら4人は女性、しかもそういう方がちゃんと部長だとか課長になってる。これはわざとですかと言ったら、こっちのほうは割と普通に自然なんですよって、男女あんまり言わないですねって。女性だから非常に華やかで明るい。それでやはりさすがだなと思う。住みやすさ、全国ベスト5だよ。すごいなと思う。明るい、大体。そういうのもやっぱりしっかりとやってほしい。

時間もないんでね。子育て支援センター、今話題の子育て支援センター、これの概要と、これ本当にこの施設が優先的に要るんですかって。これちょっとお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長、ちょっと待ってください。

質問の途中ですが、このままですと5時を過ぎることが予想されます。

あらかじめお諮りいたします。

本日の会議を延長したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

ご異議なしと認めます、

よって、会議時間を延長することに決しました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

失礼します。お願いいたします。

駅北の子育て支援施設の概要ということでお答えいたします。

こちらにつきましては、駅北大火からの復興に向けたにぎわいのあるまちづくりの推進のために、子育て環境の充実を図るとともに、市の中心市街地におけます都市機能の充実を目指すとともに、多世代の交流ができるような施設を目指します。

施設の概要、機能といたしましては、複数ありまして、1つが、子育て支援センター、こちらは親の交流のきっかけづくり、また悩み事が相談できる場所。2つ目といたしましては、一時預かりの施設といたしまして、安心して子供を預けられる場所。3つ目といたしましては、プレールーム、こちらは屋内の遊戯場となりますが、現在、市内のほうではない施設でございまして、初めて造られるような施設になっておりまして、安心して子供が遊べる場所。4つ目といたしましては、図書・学習スペースということで、読書と学習ができる学びの場所。それ以外には、ギャラリー、イ

ベントスペースが、施設の構成となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これで今、盛んに論議になってますけど、これ建設費は幾ら見込んでいるんですか、実際。ちょっとお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今の見込まれている建設費は、類似の既存の建物の面積等を割り返した概算費用として、10から12億という見込みをしておりますが、これに関しましては、本当にそういう割り算をして、掛け算をするというような世界でございますので、これが具体的にはプレールームの内容ですとか、それぞれ積み上げていく中で、その増減があるものというふうにご理解いただければと思います。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

たしか私は建設産業常任委員会でしたかね、現地で説明会があったとき、あのときの課長は大西さんだった、違ったっけね。ずっとだっけね。あんときは3億円って言ってませんでしたっけ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

私の口から出たとすれば、ちょっとすみません、そのときにどういう資料をもって3億円というふうにしたかあれなんです、そのときには旧東北電力のビルというのは、取得はしてございましたけど、そのまま使うという予定で、ただその中でいろいろご意見・ご要望いただく中で、電力さんのほうへ土地として使うということで、その辺は伸びておると思います。

ただ、東北電力さんの部分、抜かした部分、面積どんだけやったかな、井上商会さんの跡地のところでも、それなりの建物になると、複数億円というのは当然かかる規模の設備だというふうにご認識しております。ちょっとあやふやですみません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

その建設、何のために誰のために造るのか。今日は、最初に田原議員のときにね、対象者が何人、15人とかっているいろいろ言ってる。

私、やっぱり飛び上がったのは、10人から15人のために10から12億円、1人1億円かよって普通思いませんか。子育て支援にどんどん力入れてやることは、大賛成です。子育て支援センターを造る。もしくは何かあったところの既存の施設を利用するのもいいでしょう。

たしか五十嵐課長、こう言いましたよね。子育て支援センター造るだけだとしたら、あそこの場所には建てませんと言いましたよね。あのね、あそこの位置に子育て支援センターを造ったって、本来の目的であるにぎわいの拠点だとか、回遊性のある拠点だとかというところにはならんと、私は思うんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

確かにそう言いました。私の言った趣旨は、大火とか、大火からの復興を中心に、にぎわいのあるまちとか、そういうものなしで、今の糸魚川市の子育て環境を充実したい。そのために屋内遊戯場と支援を併せた施設を、まずどこが適地かって考えた場合には、あそこの場所というのは、なかなか発想しづらいんじゃないかという意味で言いましたが、繰り返しになりますが、やはり今回のベースには、駅北大火からの復興で、大変多くの方、地元の方も含む多くの方から議論をさせていただいて、練り上げてきた姿というものを何とか具現化したいということで、あの場所での子育て支援、今、嶋田課長申したような施設を計画しておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これやっぱりね、子育て支援センターって、今先進地を見てきましたけど、あわら市、このあわら市の子育て支援センターって、この議場ぐらいですよ。より狭いぐらい。で、1歳から3歳ぐらいの子、遊ばせるには十分広いんだよ。何もさ、運動会やるわけじゃないんだし、こんな広いスペース要るの。計画の総合計、何百平米になってくるのかな。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お待たせいたしました。

施設規模で、今2,000平米ということなんですけど、屋内遊戯場だけではなくて、支援センター的のところ、預かり、また多世代交流のために会議所さんからもいろんな、議員のほうからも言

われておる図書コーナーとかそういうのを組み合わせて、あそこににぎわいを持つというときには、それぐらいの面積が必要である。当然、お子さんを連れての方が来るということを考えると、本当は駐車場にいっぱい面積取られるともったいないんですけど、屋根がついたところで子供をすぐ連れていけるようにという、それなりの駐車場のスペースというのにも必要になりますし、そういうのもろもろ考えて、今これぐらいの施設規模と今計画を進めているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

答弁の中で度々出てくる、雨が降ったら遊ばせてあげたいとか、雨天のときに使いたいいっちゃ、じゃあ晴れたら使わないんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

親子が遊びに行く場所というのは、それは屋外もあるでしょうし、例えば暑い夏の日ですと、やはり涼しいところを求めるといったケースもございます。今回、屋内遊戯施設ということでありますが、そちらに子育て支援センターということで、子供の相談をできるといった機能もございますので、遊ぶだけではなくて、そういった保護者同士の交流であるとか、育児の悩み・相談といったものも受ける機能ということで、併せ持つてるという施設でありますので、必ずしも屋内であるから人がいかないということではないというふうに私ども認識をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

大賛成です。

たださ、そういう交流の場所が必要だったら2,000平米も10億も20億もかけて、そういう場所造ってやらないと駄目ですかと言ってる。何回も、さっきも言ったけど、子育て支援センターは、さっき糸魚川の場合だと、保健センターですとか、そういうところ、今保育園だとか、そういうところに隣接してやったほうが効果が大きいんですよ、子育て支援もいいし。それに、建てるに10億から12億でしょう。これ年間幾ら使うつもりですか、維持管理費、指定管理者、幾ら見てるんですか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後5時06分 休憩〉

〈午後5時07分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

そんなこともお答えできんでちょっとお恥ずかしい限りですが、今回の運営に関しましては、公民連携ということで、当然これからどういう、建設に当たっても、建設段階、計画段階から、そういう民間事業者の参画というところを意識しておりますので、当然のことながら、そういう業者の選定に当たりましては、コストというところも、安かろう悪かろうは駄目ですが、コストというところも重要な選定の一つになるべきだというふうに考えております。大変申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これからそれぞれの課の皆さんが、こういう計画を詰めて、議員さんたちに説明していくんだらうから、いいですか、大きい建物を建てれば、ガスや電気代やそういうものにかかるんですよ。小っちゃい家や小っちゃい部屋の1つや2つじゃあないんだよ。2,000平米の2階建ての部屋なんでしょう。よく考えてくださいよ。

私は何でこういうことを言うかって、子育て支援や就職支援、結婚支援だとか、要は私もいろんなこと要求してますよね。ほかの議員さんもこういう制度どうだってやる。時折にやっぱり4万人を切ったわけだから、糸魚川市としても力を入れて、地元定着を即していかならん。いいですか、制度をやる、補助をやるには金が要るんですよ。10億、12億で子育て支援センター造って、こういう制度やってください。こういうイベントやってくださいと言ったとき、お金がないということになりますよ。年間の維持費にかかってしまって、何にもできなくなる。

あのね、人口は減ります。高齢化率は高くなっていきます。あわせて、税収は少なくなって、個人からの持ち出しが多くなってきます。助けてくださいって、いろんなところから言われます。

いいですか、お金は使わないように、税金は先を考えて、これから予算組むでしょう。今払えるからといって10億も12億も、もう箱もんは要らんでしょう、じゃあ一体何で商店街の中にショッピングセンターみたいなものを造んなくちゃいけない。言っとくけど、行政がコンビニの、たとえミニコンビニでも何でも造っては駄目ですよ。スペース空けとくから、そん中、入るんならいいけど、行政がミニコンビニなんて経営できるわけじゃない。市役所の中に造ってあるのはありますけどね。そこにしたって、スペースとして貸してあるはずだ。で、行政・業務を肩代わりしてもらおう仕組みにしてある。

ただね、商店街だよ。どっか中山間地の中の古民家にそういうのが欲しいというなら、まだ分か

る。じゃないと買物行くところがないというなら、まだ分かるよ、100%分かります。けど、まちの中心地だよ。そこに人が集まってくる。なら、これ売ったら売れるんじゃないかなど。こういうものがあつたら、やれるんじゃないかなって考えるのが商売人だっていう。だからそういうふうにして、人が集まる拠点施設をやはり造っていく。

それから、古畑浩一は、政治は計画だとかいろいろ言ってる。ちゃぶ台返しするののかという話があるけど、私、そのとき議員じゃありませんし、それ計画、計画というのは決定にあらずなんで。

分かります、大体、にぎわいセンターだつてさ、子育ての支援センターにしようとする後だよ。その位置だつて、最初は何とか宿つて、本町と駅前通りの角だつたよね。それがいつの間にか東北電力が土地を売るとか、宮田ビルが土地を寄附するとか、それだけずれていったんだよね。規模だつて、だんだん大きくなっていった。その計画に何で私が従わなくちゃいけないんでしょうね。私がそういう計画の中身を知らないから、行政はちゃんとそういうことを市民の皆さんに知らせてますか。だから、白紙に戻せとかという議員が出てくるんでしょうとかつてやりましたよね。

あのさ、何回も言うけど、計画を幾ら立てたつて、そのときの情勢で、お金がないとか景気が悪いとか、先行き不透明なときは、こういうの我慢しなさいよ、こういうのは。どう思いますか、市長、市長もそう思うでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

駅北大火のときにつくりました復興まちづくり計画、これに今のつとつて進めておるわけであり。そういう中で、皆様方と中心市街地が非常に大火の前は活性化が非常にそがれていたところでわけございまして、中心市街地活性化というのは、何度もチャレンジ、チャレンジはあまりしなかつたかもしれませんが、そういう状況であつたわけございまして、大火後に、やはり復旧のときに、併せて復興もしていかななくちゃいけないんじゃないかなど。そういう環境をしっかりと作りながら進めていきたい。

そうするときに、やはり公共として何がそこで核になるような施設を、当面造らなくちゃいけないものはないだろうかという検討もさせていただきました。官民連携で、民の皆様方もそれを捉えて、呼びかけをさせていただきました。みんなで立ち上がつて、その大火の後のまちづくりをしていきましょうよという形で呼びかけをさせていただいてまいりました。そしてその中で、今いろいろ人が、そのほかにもないのかという形で上げさせていただきました。たまたま子育てセンターが、今手狭で、大変何とかせにゃいかんという状況になっておる。だったらそれを核にして、人が集まる施設を造りましょうよという形になつたわけであり。それが、皆さんとの、いろいろとのキャッチボールの中で今できたのが、現在、皆様方にお話しをしている形であるわけであり。そのようなことで、これについては、国の支援も頂ける今状況で進めていきたいと思つておる次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

計画を策定した頃は、まだ活気もありましたし、コロナもなかった。けどやっぱりコロナというものは、大きく時代を変えようとしていますね。それに時代に見合っただけの、それこそ元気ですかと、元気を出しなさいというような政策が必要だ。

それでだ、例えばキターレ、私がいたときは、まっ平の広場にするという話でしたよね。誰がいないうちに建物を建ててるの、ハードを。しかもそれは2階建てという話が1階建てになりましたよね。これ何で計画変更になったんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

あそこにも駅北広場キターレということで、広場の整備というものが、まずは求められましたし、あそこでいろんな小さい区画整理をたくさん行ってまいりました。そういう中で、残念ながら私はあの場所から出るという方の土地を全て糸魚川市のほうで取得いたしまして、区画整理をした結果、集約した土地があの部分でございます。そこに広場を造るけど、雨風を防げるというような発想の中も出てきて、いつの間にかああいう建物になったというようなふうに、ちょっと私も見えたんですが、今となっては逆に、後づけかもしれないですが、町なかでそういう活動をする人たちのいい拠点になったり、子供が学習するような空間が生まれたりして、あれでも年間1万4,500人からの、それまでに本町通りにいない世代の方が寄ってくれとるということで、そういう人を寄せる、人をつくるという部分で、重要な役割を果たしとる施設だということに思っています。

2階建てが1階建てになったのは、完全に設計段階の見込みの甘さだというふうに認識しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

あのね、もともとあそこ火事、大火事が起こったときに対応するために大きな水槽を入れて、更地にして、上には箱物を建てないで広場にする予定だったよね、ちゃんと計画です。

しかし、利用者の皆さんにいろいろ聞いたら、そこはイベント広場にしてもらいたい。じゃあイベント広場にするんだから、雨露だけはしのいでほしい。テントでつくってくれと言ったら、その次行ったら、2階建ての箱物の計画が出てきた。それで議会を納得させたんじゃないですか、ぜひそれが必要だとか言って。予算が出た後、2階建てを1階建てにしたんじゃないですか。その当時のことを知ってる人。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

2階建てということではなくて、一部2階の、やはり倉庫的に使えるような形であったと思っております。やはり我々は、そういう中である程度、予算を視野に入れて進めてまいりました。その中で、それではやはり予算的にもオーバーするのではないかということで、合わささせていただいて、当初の目的の、やはり雨風をしのぐという形の広場という状況でつくらせていただきました。ですから、当初の我々見てた、この構想や計画の図面とは、少し高さが低くなった建物になりました。

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員、駅北に関係するということで、今質問されてますけども、子育て支援センターに関連して今たまたま駅北、キターレのお話しをされてるんでしょうけども、通告の範囲内でよろしく願います。

○17番（古畑浩一君）

そういうことを言うからさ、言っとくけど、じゃあそれが、これが北口のにぎわいの一角であるから、まあいいや、やめ。

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでは、キターレの計画変更の話で説明をお聞きしました。それ以上はもうキターレは聞きませんが。

いいですか、計画があってもそのときの情勢によっては、つくろうとするものが変わるんですよ。そのときの情勢、予算、ここだってそうですよ、何もでっかいものにする必要はないだろうし、前にも言ったように、造るんなら、やっぱり人が住む商店街にして、若者向け住宅にしていくとか。その中でちゃんと子供が遊べるスペースもありますよと。で、少し大きくなって3歳になったら、2歳、1歳でもいいんじゃない。もう保育園とかはどうですかとか。

それから言っときますけど、この子供支援センターって、糸魚川で1か所じゃないんですよ。全部で4か所あるんだよ。そしたら、能生や青海や早川の人は怒りませんか、どうですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

子育て支援センターにつきまして、今、議員おっしゃるとおり市内に4か所ございます。皆さん多くの方は、自分の近いところを選んで行ってるというのが実態でございますが、中には別の地域の子育て支援センターに行かれるといった方もございます。

そういった中で、今回、子育て支援センターと併せて屋内遊戯施設も設けます。屋内遊戯施設のほうにつきましては、特別市内のどここの地域の方じゃなきゃ来られないといったこともございませんので、市内全域から屋内遊戯施設を利用していただきたいと思っておりますし、そこでの子



育て支援センター、また地元での子育て支援センター、それぞれ選択の幅を広げる中で、使いやすいような、また相談しやすいような施設づくりに努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

何というか支援センターを建設しようと、造ろうということにつきましては反対しません。でもね、同じ被災地の復興まちづくりエリアについては、JRの跡地だって入ってんじゃないですか。広いし駐車場も更地だし、鉄筋が、2階建てが残ってますけど、遊ばせようと思ったら、そこで遊ばせればいい。

何回も言うけど、競技場を造るんじゃないんですよ。空き店舗1つでも十分足りるぐらいなんですよ。糸魚川で唯一のまちをつくるんじゃない。やっぱりそうやって集まって、集って楽しめるようにこれさ、新幹線の駅を造るときから、キターレを造るときから、被災者住宅を造るときから同じことを言ってませんか。言うほど人は歩いてませんよ。交流の場もないし。

あのさ、計画というのは、もっと綿密に立ててもらえませんか。造ったけど誰も来ませんでしたじゃあなくて、それを造れば、必ず来る。昔、フィールド・オブ・ドリームという映画があったけど、やっぱりそれを造ったら、ある程度見込める人というのがいる。雨降ったときだけ集まる人のために15億ですか、12億ですか。しかも普通のお母さんたちは働いて、子供は保育園だとか幼稚園に預けてるんですよ。で、そういう人たちはさあ、自分で面倒見てるから行かないんでしょう。それも保育料や幼稚園のお金を払ってないんでしょう。かわいそうだというんなら、低所得者のための子育て育児何とか支援センターにすればいいじゃない。それなら誰も文句言わないですよ。そういう形であるからこそ、白紙に戻してもう一回計画してみればという。人が誰もちゃぶ台返ししようとは思っちゃないし、ただ、その計画にいなかったから黙っとれと言われると物すごく言いたくなりますんで、そこはやっぱりしっかりと。計画とはそういうもん。

もう時間がないからあれですけどね、このDVだとか児童虐待だとか、これに対する対応は今どうなってますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

DVの相談窓口は、福祉事務所となっております。

ただ、実際はいろんな部署で相談するケースが多くて、それぞれの相談を受けても、いろんな課が連携して、いろんな手続きが伴いますので、連携をして取り組んでおります。

また、DVというと非常に慎重な対応が必要となりますことから、そこについては、十分配慮をした対応を心がけております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

関連する虐待の部分でもお答えさせていただきと思います。

虐待につきましても、主な通報元といいますと、やっぱり学校や園といったところが通報元ということで、関係機関が連携するとともに、私ども虐待の関係の協議会等も持っておりまして、そういった中では今ほどの福祉のセクションであるとか、関係者が集まっておりますので、まずは関係者がしっかりと連絡を取ること、連携を取ることが大切だというふうに取り組んでいるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

市民課といたしましては、窓口にお見えになって、ご相談いただいたときは、まず、被害者は非常に不安を感じておりますので、丁寧に内容をお聞きしまして、関係課のほうへつないでまいります。市民課自体におきましては、住民基本台帳上における支援措置というのがございまして、そちらの適正な対応を行ってまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

基本的に、やっぱり個人情報保護、これやっぱり情報の隠蔽ではなくて、やっぱりしっかりとした対応をしてほしいんですよ。全国的、糸魚川でもそうですけど、痛ましい事件がたくさん続いている。これは今に始まったことじゃないですよ。子供にしろ、奥さんにしろ何にしろ、あんまり言わないんですよ、人に。だから、誰かが見つけてあげなきゃ駄目なんです。見つけたらしっかり対応する。これは何遍もあったんだけど、旦那さんのDV、結局、離婚届を出した。市民課はよくやってくれたんだけど、こども課が、子供が編入しましたという通知を出してしまったら、旦那に見られるとこだったと。非常に危ない。だから、ワンストップでできるシステムをやはりつくってほしい。これは要望です。

終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、古畑議員の質問が終わりました。

これをもちまして、一般質問を終結いたします。

以上で、本日の全日程が終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後5時28分 散会〉